



年頭のごあいさつ

社会福祉法人 やすらぎ会
理事長 佐々木 一



あけましておめでとうございます。

2023年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことお喜び申し上げます。また、今年は、やすらぎ会事業開始から25年目を迎えております。利用者様あつての介護事業となりますが、こうして皆様とともに節目の年を迎えられますことに重ねて感謝申し上げます。これもひとえにご利用いただく皆様、ご家族の皆様、地域の皆様並びに関係機関の皆様の多大なるご支援、ご協力の賜物と深く感謝するところであります。

昨年は、新型コロナウイルス感染クラスターの発生により、介護の支援体制もめまぐるしく変化する未曾有の危機的状況に直面しました。11月3日の発症から11月6日には県内228番目となるクラスターとなり、12月14日の収束宣言まで、利用者、職員、合わせて61人まで感染が拡がりました。日常が崩された状態は42日間と長期にわたり、その間に尊い命が失われたことを忘れてはなりません。

国はコロナ規制の緩和方向にあります。新年を迎えた今も高齢者施設での新たなクラスターが確認されております。オミクロン株は、重症化しないとされておりますが、療養期間が過ぎても肺炎の改善が見られないまま亡くなっていく高齢者が多いと認識しております。

私たちは、今回の感染拡大を振り返り、利用者のみなさんが安心して暮らせるよう、感染対策を進化させることが必要です。その際、医療とどう連携するかも大きな課題で、今年4月からは、コロナ感染症が指定感染症の分類からインフルエンザ並みに引き下げられると聞いております。表面上は制限なく一般病棟での入院ができていいように思われますが、高齢者の場合「介護」が伴いますので、医療の現場では今以上に負担が大きくなると思います。役割分担や負担軽減は、やすらぎ会だけでなく地域全体の課題としてとらえていくことが必要と考えます。

今年の新年交賀会の席で、ぶなの園の長寿番付の発表がありました。100歳以上の4人を含む26人が90歳を超えており、全利用者の半数以上になります。長寿に伴って介護支援も医療的ケア含め複雑多様化してきており、介護人材の不足も深刻な状況にあります。サービスのありかたについても大きな転換期となっており、法人事業の見直しや負担軽減の取り組みを進め乗り越えていかなければなりません。

最後に、卯年の守り本尊は文殊菩薩。「三人寄れば文殊の知恵」とも云われるように、災害を回避しながら職員意識を高め、開設25周年を皆で祝い、喜び事の多い年となるよう祈念し新年の挨拶とします。



晴れやかな気持ちで新年のスタート

先輩に教わりながら

訪問先で調理支援を行うホームヘルパー。「今日は何を作りますか？」利用者さんの好みを聞きながら、一緒に作ります。肉じゃが、おでん、カレーなど定番料理なら会話もスムーズにすぐ手が動きますが、干し菜汁、山菜の煮物など馴染みのない料理だと一瞬動きも止まってしまう。「まずは何から…」と聞く前に利用者さんによる下処理が始まり、支援しながら勉強させてもらっていることも多々。郷土料理は食べる機会はあるても自分で作ることは少ないので、今後も先輩方から学ばせていただきます。

ホームヘルパーズデーモンズぶなの園



さすがの包丁さばきです

幸せのうさぎっこ

毎年制作している干支の壁飾り、今回はみんなで作った最高傑作です。お花紙を丸めて貼り付けたのですが、想像より大変な作業で最終的にはほぼ全ての方に手伝ってもらいました。丸めた花紙はなんと5309個！
「今年もつらい事や悲しい事があるかもしれないが、みんなで作ったこのうさぎっこが跳ねてどごがさ捨ててきてくれる。そして良い事を持ってきてくれる」と話している方がおりました。「福を運んでくれる」との願いが込められた「幸せのうさぎっこ」になりました。

デイサービスがたくりの園



今にも動き出しそう



今年の目標を発表する職員

新しい年の始まりを利用者の皆さんと職員で喜び合う「新年交賀会」が1月4日に開催されました。喜寿や米寿を迎える方、そして卯年の年男年女が紹介されると祝福の拍手が贈られ、皆さんの健康を祈願しながら甘酒で乾杯。新型コロナウイルスの施設クラスター収束からまだ半月ほど、甘酒と一緒に味わったのは、皆さんでゆっくりと新年を迎えられる幸せです。令和5年、楽しいことばかりではないかもしれませんが、良い年にする！という気持ちで常持ちながら過ごしていきたいものです。

迎春 ぶなの園 新年交賀会

新型コロナ ウイルス感染症 施設クラスターを振り返る

抑え込むことができず…

11月3日に職員2名の陽性を確認。法人内では初の感染確認であり、一気に緊迫した空気が漂いました。感染拡大を抑え込むため接触のあった職員を自宅待機とし利用者の居室移動をするなどすぐに対応しましたが、3日後には職員と利用者合わせて3名の陽性を確認。その後は連鎖が止まらずピーク時には1日に9名の陽性が確認された日もありました。最終的に今回のクラスターでは職員27名と利用者34名が陽性となりました。



西和賀さわうち病院とのリモート会議

病院等からの強力な支援体制

協力医療機関である西和賀さわうち病院からは、発生当初から非常に手厚い支援や指導をいただきました。パソコンを介してほぼ毎日「リモート会議」の時間を設けていただき、感染者の状況報告や医療的な指示、指導をいただきました。看護師数名が来園し、施設内を巡回しながら感染対策の点検をしていただいたこともあります。町内で連日陽性者が出ている多忙な状況で、非常に心強くありがたい支援体制でした。また中部保健所にも毎日状況報告し、町内の他事業所からは不足している感染予防用品を分けてもらうなどの支援をいただきました。



各所に感染予防用品を設置

ウィルスを選ばないために

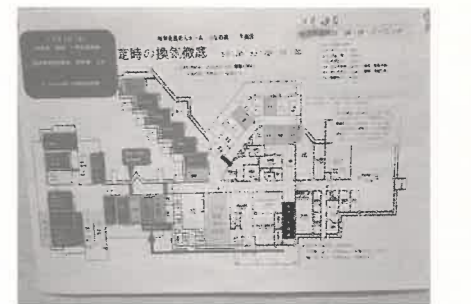
高齢者施設のクラスターは職員がウィルスを選んでしまっていることが大きな要因と考えられます。そうならないよう、様々な対策をしました。

- 【対策①】 感染予防用品の装着、交換**
介助の際には感染予防用品で全身を覆い、一接触ごとに交換。
- 【対策②】 リモート申し送り**
朝、夕の申し送りをリモート化し、各所にパソコンを設置して少人数ずつで実施。
- 【対策③】 ゾーニング**
感染リスクによって居室をレッド、イエロー、グリーンゾーンに分けて対応。介護職員も往来しないよう固定しました。
- 【対策④】 在宅サービスの休止、利用制限**
地域への拡がりを防ぐため、すぐにデイサービスぶなの園を休止。ショートステイは11月3日時点で利用されている方は安全確保ができるまで利用延長をお願いし、新規の受け入れを停止させていただきました。
- 【対策⑤】 定期的な全員検査**
週2回のペースで抗原検査キットによる職員及び利用者の全員検査を実施。無症状で陽性反応が出た方もおりました。
- 【対策⑥】 衣類、リネン、ゴミの処理**
衣類やリネンは一定時間密閉してから洗濯、あるいは業者に引き渡し。使用したガウンや紙おむつ等もすぐに密閉して専門業者に処理を依頼しました。

この他にも施設内のアルコール消毒や使い捨ての食器を使用するなど様々な対策を取り組みましたが、効果が出ていないのか出ていないのかもわからないまま徐々に感染が拡がり、もどかしさばかりが大きくなる日々でした。

クラスター発生を教訓として

感染拡大を最小限に抑え込むために、可能な限り対策に努めたつもりですが、結果的に大きなクラスターとなってしまいました。対策が徹底できていなかった部分、間違った対応をしていた部分があったかもしれません。収束後に全職員から振り返りのアンケートを取り、検証しているところです。感染力を増したウィルスがまた襲ってくるかもしれません。私たちがすべきことは、今回の教訓をしっかりと活かしていくことだと考えております。



平面図でゾーニングの確認

あたたかい
善
意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和4年11月1日～12月31日

【ご寄付】

・高橋 祥子 様

【ご寄贈】

・泉川 裕一 様

・照井 則男 様

・教育振興会志賀来実践班 様

・沢内小学校 様



1月16日、小正月ほっぴき大会を開催。当たった方から好きな景品を選べるとあって、開始前から熱気ムンムン。職員が10本くらいの縄を投げると、我れ先にと手を伸ばしてしっかり握っておりました。握った先に何もついていない時のショックは結構大きいもの。でもご安心、外れの方にも参加賞があり、皆さんに満足いただいたほっぴき大会でした。



久々のほっぴきは大盛り上がり！

あしあと

〔11月〕

1日 出張理容

4日 デイサービスぶなの園 営業休止

9日 冬季環境整備作業

15日 広報やすらぎ発行

16日 かたくり防災訓練

18日 防災自主点検

新型コロナウイルス感染症の対応により11月3日以降に予定していた施設行事、家族会研修会、各種委員会等が中止あるいは延期となりました

法人の主な動き

〔12月〕

12日 デイサービスぶなの園 営業再開

厨房害虫駆除（ぶな、かたくり）

19日 出張理容

入所検討委員会

全職員会議

理事会

26日 デイぶな運営推進委員会

27日

31日

大晦日

やすらぎ会ホームページ
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

編集後記

物価高騰の波が次々におし寄せてきて、思わず値札を二度見してしまうことも。節約が難しい日用品や毎日食卓に上がる食糧品の値上げは、なんとか最小限に抑えてもらいたいものです。そしていつか見られるのか!?「値下げラッシュ」のニュース。

やすらぎ会広報委員会

中堰 香 藤原江利子
高橋知英子 石川 大地
高橋 渉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】 社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会